

尚綱が中高一貫化へ

来年度から英語、環境教育を充実

学校法人尚綱学園（江口吾朗理事長）は来年度から、熊本市九品寺の尚綱中学・高校での中高一貫教育をスタートさせる。英語教育や環境教育を充実させ「国際社会の第一線で活躍する人材育成を目指す」という。

時期もあつたが、1995年に再開した。本年度の生徒数は88人。これまでは中学と高校のカリキュラムが独立していたため、他校の高校に進む生徒が少なくなかった。来春の中学入学者から高校まで6年間の一貫教育とし、高校は「中高一貫」と「特進」「総合」の3コース体制となる。

中高一貫のカリキュラムでは特に英語教育を重視。外国人による授業や語学研修、パソコンを使った自習システムで実践的な語学力を付ける。着付けや礼儀作法を学ぶ「装道」や華道などの伝統文化も習得する。

校地南側に8階建ての新校舎を建設。校内での野菜作りなど環境教育にも取り組む。

学業やスポーツ・文化の特待制度も大幅拡充。特待生の「SS」と「A」は入学金・授業料相当額に加え、年36万24万円の奨学金を支給し、自宅外通学

生には年24万円を上乗せする。家計が苦しい生徒への支援も強める。

尚綱中の募集定員は80人。学校説明会は8月22日、9月18日、11月6日。（森紀子）